

第1回 学校運営協議会 令和2年7月22日（水）（授業見学・協議）

本校会議室において、第1回の学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会委員6名、学校側からは、准校長、教頭、課長補佐、首席、各系列代表教諭が出席しました。今年度最初の運営協議会であり、午後の授業を見学いただいた後、運営協議会を開催しました。

内 容

1. 授業見学 13:10 ~ 15:00

2. 運営協議会 15:25 ~ 16:55

① 准校長挨拶

② 委員紹介・事務局員自己紹介

③ 運営マニュアル、実施要項、意見書についての説明

④ 会長、副会長の選出

⑤ 協議事項

・授業見学について

・学校経営計画及び学校評価について

・本校の課題について

・文部科学省「地域との協働による高等学校教育改革推進事業（グローバル型）」
事業特例校の指定について

・その他 SGH後継事業、下宿制度、バスの確保、全国募集への展開など

⑥ 連絡

次回、第2回の開催 11月下旬～12月上旬予定

委員からの意見等

【授業見学】

- ・子どもたちは一生懸命であった。先生の教え方もよかった。農場見学では、小規模であるが故に、凝縮された授業が行われていた。
- ・コロナが続く中で、生徒と向き合った授業が行われ、生徒の顔が見ることができとてもよかった。勉強に気が向いていない生徒に対して、真剣に先生が向き合っていた。
- ・少人数の授業の丁寧さがあった。先生と生徒の距離が近く、他の高校にはないものであった。ソーシャルディスタンスについて、不安もあった。生徒自ら勉強する場を作っていかなければならないと感じた。

【協議】

- ・下宿制度を作ることに對して、いいと思う。地域の方の協力を得られるように取り組んでいてもらいたい。
- ・町内での仕事を知る勉強の場を設け、職場体験がまちづくりになってもらいたい。能勢分校から発信を行ってほしい。
- ・高校生が作ったCMなどオンラインコンテンツを使って、世の中に広めていくが良いの

では。能勢分校を通しての取組みをぜひ能勢のPRとしてほしい。都会がコロナ禍で大変な状況になっても、能勢には様々な可能性があり、生き残っていける気がする。

- ・4つの系列は魅力的である。中学生へのアプローチをぜひ行ってほしい。我々も伝えていきたい。
- ・文科省の事業特例校については、予算措置がないなかでも、応援する会からのサポート等何とか工夫を凝らしてこの取組みを進め、来年指定校に再度チャレンジしてほしい。
- ・完全に分校になり、新しい取組みもたくさん始まり、地域とのつながりも一層強くなってくる。能勢町、豊能町も全体で、バス等交通手段について、改善策を講じてほしい。私たちも、運営協議会はもちろんのこと、それ以外でも、能勢分校を中心として能勢町が元気になるよう、日ごろから意識して皆で力を尽くしていきたい。